

企業情報研究科が求める教員像と教員組織の編成方針

「阪南大学が求める教員像と教員組織の編制方針」に基づき、企業情報研究科の教員として求める教員像および教員組織の編制方針は次のとおりである。

【企業情報研究科が求める教員像】

1. 能力

- (1) 高度な専門分野の知識を蓄積し、創造力の育成に努め、新しい発想力で研究を推進できる能力
- (2) 院生の多様性と個性にあわせた研究指導を十分にできる能力
- (4) 企業情報研究科の一員として、研究科運営を組織的に責任をもって実施できる能力
- (3) 院生の能力と希望を踏まえて、研究活動を通して院生のキャリア形成できる能力

2. 姿勢

- (1) 企業情報研究科の教育目標を理解し、目標とする人材育成の実現に努力する姿勢
- (2) 企業情報研究科のアドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーを理解し、これらの実現に努める姿勢
- (3) 常に阪南大学研究倫理指針を遵守し、教育・研究能力を自ら研鑽し高度な教育と研究遂行能力を構築しようとする姿勢
- (4) 組織的なFD活動や研究会に積極的に参加し、研究科全体としての研究・教育能力を絶えず向上させようとする姿勢

【教員組織の編制方針】

全学および企業情報研究科のカリキュラム・ポリシーに基づき、国際経営、ブランド・マーケティング、観光ビジネス、経済分析、情報の分野の高度な専門知識を持ち、企業情報研究科担当者としての深い素養を兼備した、豊富な研究実績に基づく研究指導が可能な教員を配置する。

具体的な項目として以下を示す。

- (1) 教員数：大学院設置基準を満たし、大学院の教育理念達成に必要な教員数を確保する。
- (2) 科目担当：本学大学院科目担当者としての資格要件を満たす。
- (3) 教員人事：法令、学内規定を遵守し、自律的で透明性のある人事を実施する。